

はつらつ体験塾 通信



令和4年度 第1回チャレンジキャンプ号 令和4年7月31日
新潟県少年自然の家

みんなで協力、楽しい2日間でした

7月16日(土)・17日(日)に、胎内市の新潟県少年自然の家を会場にして、第1回はつらつ体験塾チャレンジキャンプが行われました。活動内容(難易度)は、前回よりもレベルアップしています。小・中学生14人、学生ボランティア9人が参加したキャンプの様子をお知らせします。7月16日(土)

13:00	13:30	13:40	14:30	17:30	18:30	19:30	20:00	21:30
受付	出会いのつどい	レクリエーション	テント設営	夕食	キャンプファイア	バトボール うたがり	お風呂自由	就寝

出会いのレクリエーションでは、2~3人組になって、風船や様々なボールを使ってキャッチボールをしました。参加者の友達同士でも中学生と小学生、男の子と女の子としたり、学生ボランティアさんや所員の大人ともキャッチボールをしたりしました。終わったら、お互いに「ありがとうございました。」と言うことで、みんなが笑顔になっていました。

さらに、お題の物の名前を言いながらキャッチボールもしました。「メロン」「ブドウ」「リンゴ」など、果物の名前を言いながらキャッチボールをするペアもありました。悩みながらも、楽しそうに活動していました。楽しく活動することで、不安や緊張が和らぎ、安心感が会場全体を包んでいました。



次に、みんなが宿泊するテントの設営を行いました。子どもたちだけでは設営が難しいので、学生ボランティアさんと協力して行いました。ほぼ全員が初めてのテント設営だったため、悪戦苦闘の連続でした。それでも、テントの設営が終わると、「やったー、できたー!!!」「テントの中は結構広いよ。」などの楽しそうな声があちらこちらから聞こえてきました。みんなで協力して、テントを設営することができました。やったあ~~~~!!!



夕食後に行った「キャンプファイア」では、おごそかに聖なる火を迎え、燃え上がる炎のもとで友情を深めました。火の神（所長）や火の守（子どもたち）のトーチで營火台に点火することで炎が灯りました。その炎を見つめながら、レクやダンスをして楽しみました。



さらに、テント内での照明として、ペットボトルランタンづくりを行いました。水を入れたペットボトルに油性ペンで色を塗ったり絵をかいたりしました。ペットボトルの底から懐中電灯で光を当てると、この世で一つだけの素敵なランタンが光りました。どれもとてもきれいでした♪



7月17日（日）

6:00	6:30	7:30	8:00	9:00	12:00	13:00	13:15	13:30
起床	朝の つどい	朝食	テント 片付け	野外 炊さん	昼食 片付け	ふり返し	別れの つどい	解散

2日目には、みんなが楽しみにしていた野外炊さんをしました。みんなでおいしいカレー作りをしました。

調理係とかま場係に分かれて、作業をしました。調理係は、分担して米を研いだり、野菜の皮をむいて切り、鍋に入れたりしました。どの子も手際よくピーラーや包丁を使っていました。かま場係はかま場に松葉や薪を準備し、火をつけました。その後、火の番をして、お米を炊いたり野菜を煮たりしてカレーを作りました。

どの班のカレーもおいしくできたようで、あちらこちらから「おいしい〜♡」「もっと食べた〜い！」の声が聞こえてきました。大成功の野外炊さんになりました。



看護師さんや学生ボランティアの皆さん、保護者の皆様のご協力があり、今回のはつらつ体験塾も大成功をおさめることができました。心から感謝いたします。ありがとうございました。

はつらつ体験塾担当：天木享・星野貴之